

# 夏休み「子ども見守り活動」3年ぶりの再開！

令和4年の夏休みは、明祥地区の町内公民館に子どもたちの元気な声が響いていました。夏休み「子ども見守り活動」です。

この活動は、平成15年に城ヶ入町福祉委員会主催の「ぱわふるきっず」の誕生が始まりでした。

当時のお母さんたちは、夏休み中ずーっと家で過ごしている子どもを心配していました。「ゲームばかりやってるし…」そんな心配事について、当福祉委員会で話し合っって誕生したのが「ぱわふるきっず」でした。

今では、明祥地区の5町内会で夏休みに「子ども見守り活動」が行われています。新型コロナウイルス感染症により、ここ数年は、今までとは違う方法での見守り活動を行っていましたが、3年ぶりの通常開催となりました。

当日は、子どもたちが来てくれるか心配もありましたが、多くの子どもたちが足を運んでくれました。小学生の時に参加してくれた子どもたちが中学生になり、今年はボランティアとしてお手伝いしてくれました。

地域の人々が築いてきた「子ども見守り活動」は、通常のカン催ができな時期もありましたが、子どもたちの心の中にしっかりと焼き付いていると感じました。



当時の明祥地区社協だより  
(平成15年9・10月号)



東端町福祉委員会  
折り紙でお洒落な壁飾りを作ります



石井町福祉委員会  
割りばし鉄砲を作ってもらいました